



MX-25 フラックスボックス取扱説明書

MXユーザーマニュアルの補足

[DeepLによる翻訳](#)

目次

1. はじめに	2
2. 構成	3
2.1 デフォルト	3
2.2 伝統的な	8
3. Fluxboxの詳細	10
3.1 ルートメニュー	10
3.2 その他のメニュー	11
3.3 スタイル (テーマ)	11
3.4 壁紙	12
3.5 ショートカット	12
3.6 設定ファイル	13
3.7 スリット	13
3.8 オーバーレイ	14
3.9 ウィンドウの設定とコントロール	14
3.10 スクリーンオプション	14
4. FAQ-ファインダー	15
5. リンク	17

1. はじめに

MX-25 Fluxboxへようこそ！

MX Fluxbox (=MXFB)は、MX Linuxの最小または "ベース "バージョンです。設計上、他のMX Linuxバージョンに自動的に含まれるすべてのソフトウェアは含まれていません。しかし、デスクトップのアイコン "Software "をクリックして**MXパッケージのインストーラー**を起動すれば、追加ソフトウェアを簡単にインストールできます。そこには、オフィススイート（例：LibreOffice）、グラフィックエディター（例：Gimp）、ビデオプレーヤー（例：VLC）など、多数の他のアプリケーションを見つけることができます。

その名が示すように、MXFBはウィンドウの配置と外観を制御する[ウィンドウ・マネージャーとしてFluxbox](#)を採用している。その小さなメモリフットプリントと迅速なロード時間は、低リソースシステムで非常に効果的であり、高レベルのマシンでは非常に高速です。

MXFBは2つの基本的な構成で実行でき、その間に多くのバリエーションが考えられる：

- **デフォルト**：「tint2」として知られる洗練されたパネルを採用し、複数のグラフィカル・アプリケーションとコンポーネントを搭載。
- **Fluxbox**、ネイティブの "ツールバー "と最小限のデスクトップ外観を使用。

初めて使用される方は、MX-23バージョンの概要をご覧ください：

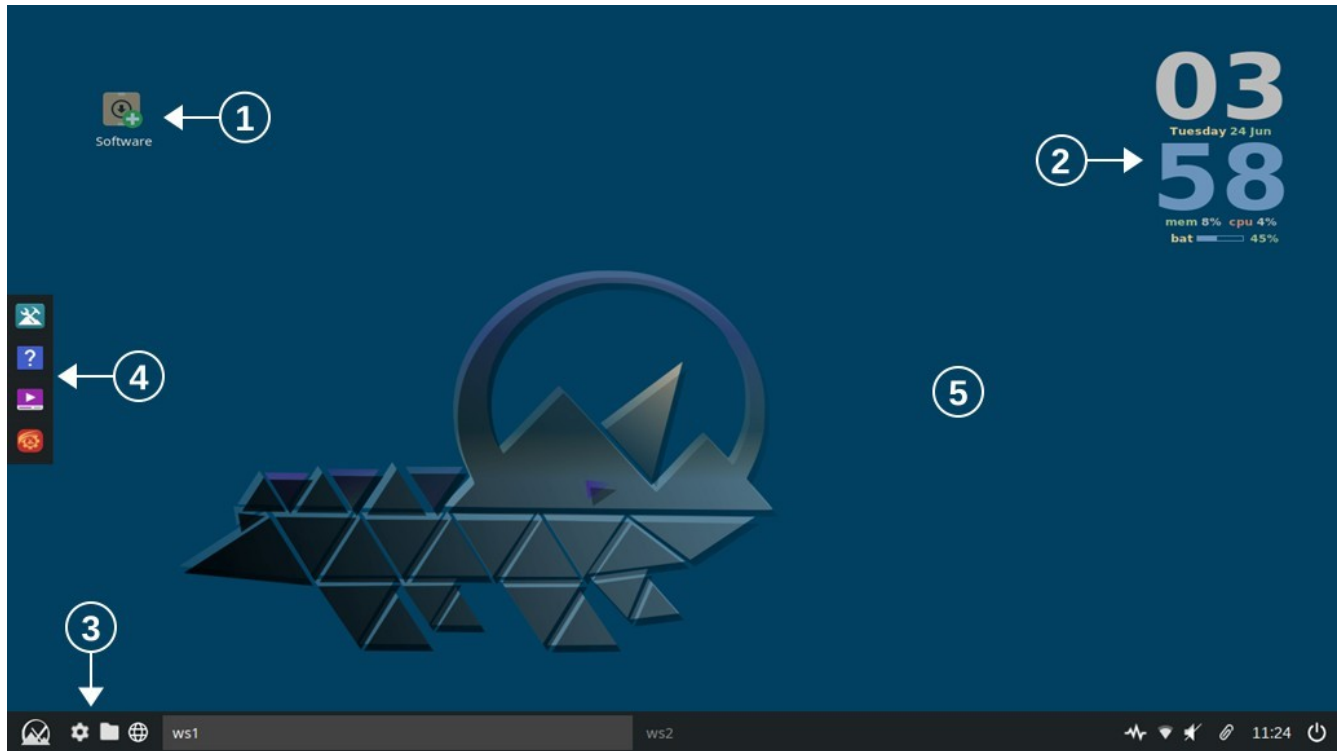


[MX-Fluxbox：新](#)

[機能](#)

2. 構成

2.1 デフォルト

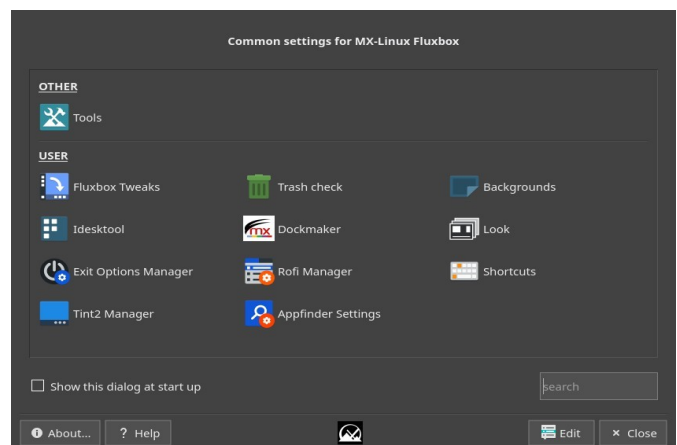


Fluxboxのデスクトップ（壁紙はMX-25のデフォルトではない）。左上から時計回りに、主なコンポーネントを示します：

- 1 デスクトップアイコン（セクション2.1.1）
- 2 デスクトップのシステム情報（セクション2.1.2）
- 3 tint2パネル（2.1.3節）
- 4 ネイティブドック（第2.1.4節）
- 5 非表示（ルート）メニュー（第2.1.5章）

注意: このドキュメントで言う「メニュー」とは、デスクトップ上で右クリックすると表示される「ルートメニュー」のことです。

初めて使う人は、ドック（赤いアイコン）、パネル（歯車のアイコン）、ルートメニューの「設定」マネージャーを最初を選ぶといいでしょう。そこに表示されるネイティブアプリは、非常に簡単に柔軟性に富んでいる。



目に見えるパネル、デスクトップ、ドックアイコンに加え、アプリケーションは以下の方法で起動できます：

- パネルのスタート（MXロゴ） ボタンをクリックしてAppfinderを開く。
- デスクトップを右クリックしてメニューを表示
- デスクトップを右クリックする：メニュー> 「すべてのアプリ」 をクリックすると、Debian のようなカテゴリー別リストが表示されます。
- キーボードのロゴキー（WindowsまたはAppleのアイコン）を押すと、便利なプロパティ付きのアプリ一覧が表示されます。
- Ctrl+F2 を押すと、実際のプログラム名の小さな実行ウィンドウが表示されます。Shift+Enterでターミナルで起動するコマンド（スクリプトなど）を入力することもできる。

このように冗長性があるため、ユーザーは特定のタスクや個人的な好みに応じて最も便利な方法を選択できる。

2.1.1 デスクトップアイコン

隠す：メニュー> 見えないところ> トグルアイコン

削除（アイコン）：アイコンを中クリックしてiDesktoolを起動します。

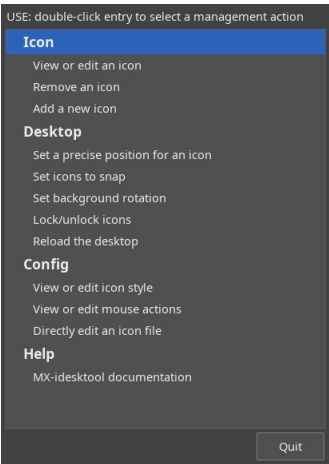
停止：メニュー> Out of sight> Toggle iDesk Manage：メニュー

→ アピアランス> デスクトップアイコン ヘルプ：[Wiki内](#)



デスクトップアイコンは、MX Linuxの開発者とユーザーがiDesktoolを作成するために改良、近代化、拡張した古いアプリ、iDeskによってMXFBで有効になっています：メニュー> 外観> デスクトップアイコン。

このツールは、MX Fluxboxでのデスクトップアイコンの使用を非常に容易にします。このツールは非常に簡単で、使用に関してほとんど疑問を抱くことはないでしょう。



以下は、デスクトップアイコン（`~/.ideskrc`に設定）の基本的なマウスアクションです(*)。デフォルトの "Software "アイコンを例にしています：

アクション	マウス	説明
実行	左シングルクリック	MXパッケージのインストーラを開く
実行 alt	右シングルクリック	アクションメニューを開く
管理する	中央（スクロールボタン） シングルクリック	アイコンにフォーカスしたiDesktoolを開く
ドラッグ	左クリックホールド、離すと停止	

*記号 "~" はユーザーのホームフォルダのショートカットです：`~/.ideskrc= /home/<ユーザー名>/.ideskrc`

2.1.2 デスクトップシステム情報

コンキー

隠すメニュー> Out of sight> Toggle conky

Conky の設定：メニュー> 外観> Conky

停止：メニュー> 設定> 設定ファイル> 起動：conkystart をコメントアウトする

管理する：メニュー> 外観> Conky

ヘルプ：ウィキで：MX Conky, Conky Manager

Conkyは、カスタマイズ可能なデスクトップシステム表示です。MX Fluxboxのユーザーは、メニュー> 外観> ConkyをクリックしてConky Managerを表示することで、MX Linux用の大規模な設定（コンフィグ）を利用できます。Conky Managerは基本的な管理の便利な方法ですが、MX Conkyというツールは色の操作などMX Linux独自の高度な機能を提供します。

Conky Managerでは、以下の簡単な手順でコンキーを編集、表示、表示できます：

- 各conkyコンフィグをハイライトし、必要であればプレビューを押して、どのように見えるかを確認します。
- 設定アイコン（歯車）をクリックして、場所などの基本プロパティを変更します。
- 使用したいコンフィグにチェックを入れてください。自動インストールされます。
- コンフィグは、リストでハイライトして編集アイコン（鉛筆）をクリックすることで、必ずしもわかりやすいものではありませんが、編集することができます。すべてのコンフィグは ~/.conky/ フォルダに個別のテーマファイルとして保存されます。

より複雑なコンキーを作るには、コンポジターを利用する必要があるかもしれません。Menu> Settings > Config > Startup をクリックし、コンポジターに関する行のコメントを外して、次のようにします：picom &

モニター (gkrellm)

隠す：メニュー> Out of sight> Toggle monitors

モニター設定：トッパーを右クリックしてメニューを表示

Stop: 設定> 設定ファイル> Startup: gkrellm をコメントアウトする。

管理するメニュー> 外観> モニタ

ヘルプ: <https://www.youtube.com/watch?v=G2F2YoZM63Y>

[GKrellM](#) は、システムモニターの単一プロセススタックを作成する、優れたデスクトップシステムインフォメーションディスプレイです。多くのオプションはトッパーの Configuration を右クリックしてインデックスを見ることで利用可能です：

- 一般
- ビルトイン
- プラグイン
- テーマ

GKrellMの設定はコードの編集を必要としません。MXにはいくつかのテーマがデフォルトで含まれています。プラグインは

Synapticで "gkrellm "を検索することでインストールできます。

2.1.3 tint2パネル

隠すMenu> Out of sight> Toggle autohide panel(パネル自動非表示)

削除手動: `~/config/tint2/` から設定ファイルを削除してください。

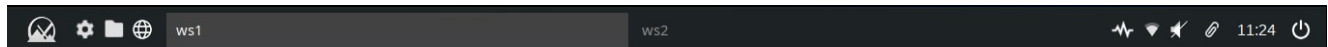
停止: 手動: "startup" ファイルの行の前にコメント(#)を入れる。

管理メニュー> MX Fluxbox tools> Tint2 Manager

ヘルプ: [Wiki内](#)

ネイティブ（または従来の）Fluxboxツールバーは、今日の多くのユーザーが期待する機能やデザインとは大きく異なります。そのため、"tint2"として知られる高度に設定可能なアプリを使用して、代替ツールバーが開発されました。2つのツールバーを切り替えて使用することができます: メニュー> 外観> ツールバー

> Fluxbox/tint2。トグルを切り替えると、デフォルトの設定 *tint2rc* に戻ります。別の設定を使用している場合は、ログアウトして再度インストールすると、選択した設定が復元されます。



アイコンの左から右へ: Appfinder、MX Fluxbox ツール、ファイルマネージャ、ブラウザ、[ws1= ワークスペース 1]、アップデータ、ネットワークマネージャ、サウンド、クリップボードマネージャ、時計、終了オプション。システムトレイ内の順序は、新しいセッションで変更される可能性があることに注意してください。

警告

新しいパネルを作成する場合（MXのデフォルトから始めない場合）、Fluxboxのバージョンによってはエラーが発生することがあります。パネルの幅を100%に設定すると、パネルの位置がずれます（画面下部の上に浮くなど）。また、tint2パネルが配置されるはずの場所にスペースが確保されるため、tint2の位置がずれると、最大化されたアプリが画面いっぱいに表示されないように見えます。

解決策は2つあります:

- 幅を99%に設定し、パネルを元の位置に戻す。
- パネルの幅を「100%」に設定し、1ピクセルの水平マージンを追加する。

使用するパネルを変更するには、[スタート] ボタンの横にある歯車アイコン、ドックの赤い歯車アイコン、またはメニュー> [設定]> [設定ファイル]> [Tint2 パネル] のリストをクリックします。設定マネージャが起動し、"Tint2 マネージャ"をクリックします。画面が開き、`~/config/tint2/` にある全ての tint2 設定が表示されます。tint2 をドックとして使用することもできます。

既存の設定を選択するだけでなく、パネルの要素を変更することもできます。グラフィカルエディタを利用するには "Config" ボタンを、ファイルを直接編集するには "Edit" ボタンをクリックしてください。

グラフィカルエディタには2つのアプリケーションがあります:

- "Themes" には、ユーザーの場所にあるすべての tint2 コンフィグと、インストール中に取り込まれた他のコンフィグが表示されます。
- "Properties" には、実行中のコンフィグの機能が表示されます。プロパティ "ウィンドウが表示されていない場合は、左上の小さな歯車アイコンをクリックしてください。

Properties "ウィンドウでグラフィカルエディターを使って行う一般的な操作をいくつか紹介します:

- ランチャーの追加/削除左側の "Launcher "エントリーをクリックします。右側のパネルには2つの列があります：左側には現在ツールバーに表示されているアプリケーションアイコンのリストがあり、右側にはインストールされているすべてのデスクトップアプリケーションのリストがあります。矢印を使用して、項目を上下に移動します。
 - 追加**：右カラムのリストから必要なアプリケーションを選択し、中央の「左矢印」アイコンをクリックしてから「適用」ボタンをクリックすると、即座にツールバーに追加されます。
 - 削除**：逆の手順で削除します。
- パネルの移動またはサイズ変更左パネルで「パネル」エントリーをクリックし、右パネルで配置とサイズを選択します。「適用」ボタンをクリックします。必要であれば、ここでスクロールダウンして「自動非表示」にチェックを入れることもできます。
- 時間/日付フォーマットの変更12時間表示と24時間表示を切り替えるには、Tint2マネージャのメイン画面にある専用ボタン "12時間/24時間 "を使用します。その他の変更については、左パネルの "Clock "エントリーをクリックし、"First line format "または "Second line format "フィールドを好きなものに変更してください。[ウィキ内](#)のコード

注意: 現在の設定を変更する前にバックアップしてください。

~/をクリックし、"tint2rc_BAK "などの新しい名前前で保存します。その後、バックアップファイルからカスタマイズしたすべての行を、新しいtint2rc設定の適切な場所にコピーできます。

2.1.4 ドック

隠す：メニュー> 非表示> ドックの自動非表示の切り替え

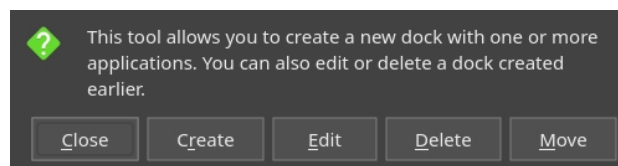
ドックアイテムの削除/追加：メニュー> 外観> ドックメーカー **停止（デフォルトのドック）**：Menu> Out of sight> デフォルトドックを無効にする **Manage**：メニュー> 外観> ドック> ドックメーカー

ヘルプ：[Wiki内](#)



MX-Fluxbox：パワーツール

MXFBにはDockmakerというネイティブアプリがあり（*wmalauncher*を利用）、ユーザーが簡単にドックを作成、変更、管理できるようになっています。



デフォルトのドック（*~/fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk*）には以下の項目が含まれています：

- MX ツール
- ヘルプ（このマニュアル）
- MXビデオ
- 設定マネージャー

2.1.5 ルートメニュー

メニューはデフォルトでは非表示になっており、デスクトップを右クリックすると表示されます。多くの機能や設定に素早く簡単にアクセスできます。詳細は[セクション3.1](#)をご覧ください。

2.2 伝統的な

従来のFluxboxのセットアップを実行したいユーザーには非常に簡単です。実行中のセッションを以下のように変更するだけです：

- メニュー> 設定> ツールバー> フラックスボックス
- メニュー> Out-of-sight> Kill dock
- メニュー> Out-of-sight> Kill conky
- メニュー> Out-of-Sight> Toggle iDesk および Toggle アイコン

変更を永続的にするには、*Menu > Settings > Config files > Startup* の該当行をコメントアウト（#）して、以下のようにします：

```
#$HOME/.fluxbox/scripts/DefaultDock.mxd #conkystart  
#idesktoggle idesk on 1>/dev/null 2>&1 &.
```

ツールバー

伝統的な



オリジナルのツールバーには（*~/fluxbox/init* で設定）以下のコンポーネント（左から右）を含めることができます：

- **ページャー** Ctrl + F1/F2/ など、Ctrl-Alt + ←/→、またはデスクトップの空の部分にスクロールホイールを使って、ワークスペースを前方（右クリック）または後方（左クリック）に切り替えることができます。番号と名前は *~/fluxbox/init* で設定します。"ws" は "workspace" の略です。
- **ワークスペース名** init でデフォルトで "ws1, ws2, etc" に設定されています（ws=ワークスペース）。
- **アイコン・バー** ここで開いているアプリはアイコンが表示され、関連するアイコン（ツールバー自体も含む）を右クリックすることで、様々なウィンドウ・オプションが利用できます。> **アイコン・バー・モード**。デフォルトは All Windows です。
- **systemtray** Xfce の通知領域に相当します。systemtray オプションを持つ *~/fluxbox/startup* にリストされているアプリはここに表示されます。
- **クロック** 12/24時間表示の変更には、*Menu > Settings > Config files > Quick config > Toolbar* を使用します。その他の変更については、*Menu > Settings > Config files > init > Manual edit* をクリックし、Ctrl+ Fを押して "strftimeFormat" を探し、必要に応じて変更してください。短い日付は **%b %d** で追加できます。他の多くの時間/日付オプションは[Wikiにあります](#)。

拡張MXスタイル



拡張MXツールバーは、従来のものと同じ情報を表示することができますが、ランチャーを追加するためのツールバー "ボタン "の最近の開発を利用しています。上の画像では左端(L/R)にあります：

- アプリファインダー
- ルートメニュー
- MX Fluxboxツール
- ファイル・マネージャー
- ウェブブラウザ
- ページャー（三角）
- 終了オプション

どちらのツールバーも *init* の設定に従います。拡張ツールバーはFluxboxのデフォルトセットにツールバーの設定を追加し、フォントの設定もオーバーレイに配置します。

リソース

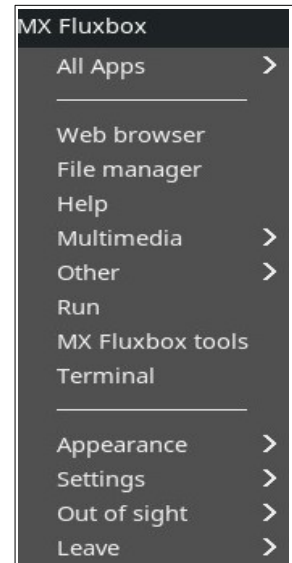
[MXフラックスボックス伝統的なモード](#)

3. Fluxboxの詳細

3.1 ルートメニュー

この短い静的メニュー (`~/fluxbox/menu-mx`) には、`~/fluxbox/submenus`にある3つのサブメニュー（外観、設定、見えないところ）が組み込まれています。ルートメニューは3つのセクションに分かれています：

- トップ
 - **すべてのアプリ**: Debian ライクなカテゴリメニューです。パッケージがインストールまたは削除されると自動的に更新されます。"Update" をクリックして手動で更新することもできます。自動更新を止めるには "Disable" をクリック。
- 中段：よく使うアプリを直接開くためのリンク、
- 下段
 - 外観
 - 設定
 - 視界の外：要素を隠す便利なコマンド集
 - 退出



新しいユーザーは、その内容、パワー、スピード、柔軟性を理解するために、このメニューを通して作業するのがよいだろう。

編集

特に魅力的なのは、これらのメニューが完全にユーザーのコントロール下にあるという事実である。ルートメニューの要素を変更したり、追加したり、並べ替えたりすることができます。メニューで編集したいメニューファイルを開きます。

> *Settings* > *Configure* > Menus で編集したいメニューファイルを開きます。

メニューエントリーの典型的な構文は次の通りです： `[exec] (name) {command}` - 括弧、括弧、中括弧を正しく使用してください。

例1："Music player "をDeaDBeeFの代わりにStrawberryを開くように変更する。

- DeaDBeeF "という単語がある行を見つける（必要ならCtrl+Fを使う） `[exec] (Music player) {deadbeef}`.
- コマンド部分の "deadbeef" という単語をダブルクリックしてハイライトさせ、次に "strawberry "と入力して保存すると、このような結果が得られます：

`[exec] (Music player) {strawberry}` となります。

- 保存して終了すると、変更はすぐに有効になります。

例2：メニューにズームを追加する

- この例では、共通アプリセクションに新しいカテゴリー "チャット" を追加し、そこにZoomを入力するとします。
- サブメニューのコマンドを使用してカテゴリーを作成し、新しい行を追加してパターンに従う。
- 結果は次のようになります：[サブメニュー] (チャ

ット)

```
exec] (ズーム) {ズーム} [end] (終了)
```

終了

注意：アプリによっては実際の起動コマンドと名前が一致しない場合があります。

3.2 その他のメニュー

アプリケーション

- **Appfinder** (MXアイコン)。tint2 のメインメニューと、特別な Rofi テーマを使用した MX 拡張ツールバー。内容は `/usr/share/applications` から自動的に取得されます。メニューの左側にあるクエスチョンマークをクリックして**設定**アプリを開くと、フォーマットを変更できます。
- **すべてのアプリ**このルートメニューの一番上のエントリは、デスクトップファイル (`/usr/share/applications`) を使って構造を設定します。このエントリは、デフォルトではアップデートプログラムが実行されるたびに更新されます。

このメニューが自動的に更新されないようにするには：MX Tweak > Otherタブを開き、"Generate Fluxbox All Apps menu..." エントリーのチェックを外します。そうすれば、いつでも一番下のメニュー項目 "Update" を使うことができます。

- **Rofi**。このアプリランチャーは、キーボードの "Super" (ロゴ) キーを押すことでアクセスできます。アルファベット順ですが、よく使うアプリが一番上に表示されます。[詳しくはこちら](#)。

その他

- **ウィンドウメニュー**。ウィンドウのタイトルバーを右クリックすると、これらの重要なオプションが表示されます。特に、サブメニューの「記憶する...」にある、場所や寸法などに関するオプションが便利です。
- **ワークスペース|メニュー**。デスクトップ上で中クリックするとリストが表示されます。

3.3 スタイル (テーマ)

伝統的に、Fluxboxにおける「スタイル」とは、ウィンドウ、ツールバー、メニューの装飾方法を指示するシンプルなテキストファイルを指します。MXFBには、ネイティブスタイルのグループと、いくつかの選択スタイルが同梱されています。すべてメニュー > 外観 > テーマで選択できます。

広い意味で、スタイルはテーマ、装飾、アイコン、カーソルの組み合わせと考えることができる。設定マネージャにリストされているツールの多くは、スタイルのコンポーネントを素早く便利に編集することを可能にします。

既存の伝統的なスタイルを手動で編集したい場合は、`~/fluxbox/styles`にコピーして名前を変更し、変更してください（下記のリンクの下にあるtenrによるスタイルガイドを参照してください）。伝統的なスタイルには壁紙を含めることができますが、MX-Fluxboxではデフォルトでメニュー> 設定> 設定ファイル> オーバーレイの一番上の行でブロックされています。スタイルが背景を決定できるようにするには、行の前にハッシュマークを付けて次のようにします：

!次の行は、スタイルが背景を設定できないようにします。

`#background: none`

選択

MX Tweak（Themeタブ）を使うと、要素のテストや選択が簡単になり、またそれらを自分の特定のテーマに組み合わせることもできます。これはMXFB Lookにリンクしており、選択したものを特定のグラフィック機能のコレクション（「ルック」）として指定し、保存することができます。

3.4 壁紙

まず、オーバーレイ ファイルが背景を決定するスタイルをブロックしていることを確認します。次に、メニュー> 外観> 壁紙> 選択をクリックし、利用可能な選択肢を表示するNitrogenを起動します。デフォルトでは、ユーザー背景（`~/fluxbox/backgrounds`）とシステム背景（`/usr/share/backgrounds`）が選択されています。この設定により、ユーザーフォルダに背景を追加し、メニューから選択できるようになります。"Preferences"をクリックすれば、他の背景ソースを追加できます。

fehbgを使用する従来の方法は、Menu> Settings> Config files> Startupで有効にできます。"fehbg"を検索してコメントを解除し、"Nitrogen"をコメントアウトしてください。また、Menu > Appearance > Wallpapersを変更することもできます。[MX Fluxboxを：Traditional mode](#)を参照してくださいその他のヒントについては、参照してください。

3.5 ショートカット

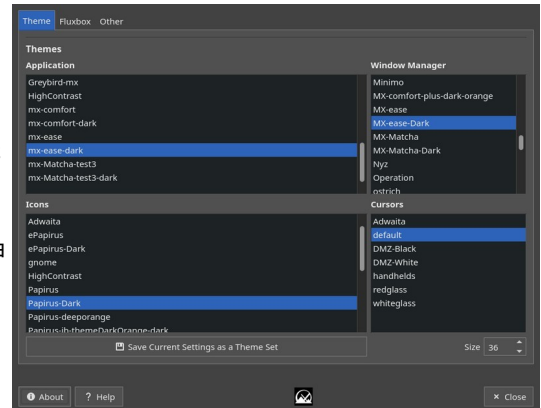
Fluxboxでは、キーの組み合わせをショートカットとして設定することができます。設定は`~/fluxbox/keys`は、Menu> Settings> Config files> Keysから編集できます。MXFBツールの "Shortcuts" でデフォルトキーの便利なビューを見ることができます。コンキーのコンフィグ "MX- FluxKeys" はコンキーマネージャーで選択できます。

いくつかのキーの名前は少しわかりにくい：

- Mod1= Alt
- Mod4= ロゴキー（Windows、Apple）

MX-Fluxbox には専用のファンクションキーショートカットがあります：

- Ctrl+F1：MX-Fluxbox ドキュメント
- Ctrl+F2: コマンド実行; 端末入力が必要なコマンドを入力する場合は、Ctrl+Enterを使用してください。



- Ctrl+F3: ファイルマネージャー
- F4: ドロップダウン・ターミナル
- Ctrl+F5: MXツール

3.6 設定ファイル

Fluxboxの基本的な設定はすべて`~/fluxbox/`にある[テキストファイル](#)で制御されています。このファイルはMenu> Settings> Config filesをクリックすることで簡単にアクセスできます。ほとんどの設定は手動で変更する必要がありますが、initにはヘルプがあります。

- **apps**: ウィンドウのプロパティに基づいたアクション
- **init**: メイン設定ファイル
- **keys**: ショートカットとキーバインド
- **menu**: **メニュー**: Fluxboxのデフォルトは無視されます。
- **overlay**: すべてのスタイルを上書きするスタイルリソース

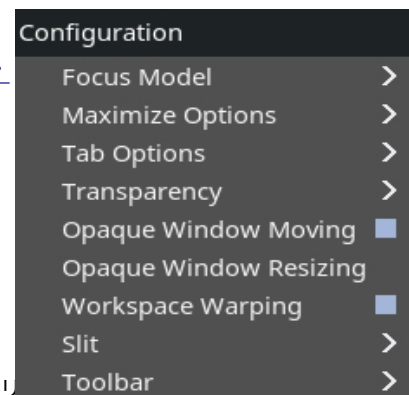
設定ファイルの編集を始める前に、現在の設定をバックアップしておきましょう。万が一うまくいかなかった場合、いつでも以前の設定を復元することができます。

init

このファイルには、Fluxboxの外観や動作の多くを決定するプロパティの長いリストが含まれています。このファイルは手作業で編集する必要があり、その際、[詳細なリファレンス・ドキュメント](#)が非常に役に立ちます。

initは非常に重要かつ複雑なので、MX Fluxboxには3つのユーザー補助機能があります：

- Fluxbox ネイティブ設定アプリメニュー> 設定> 設定ファイル> クイック設定
- **MX Tweak**の "Fluxbox "タブには頻繁に変更されるプロパティが表示されます。
- メニュー> 設定> 設定ファイル> Init> Categorizeをクリックすると、initがカテゴリ化しやすく、特定のグループを編集する際に非常に役立ちます。



3.7 スリット

スリットはもともと[dockapps](#)のコンテナとして考案されたが、MXFBでは主にwmalauncherを採用したドックに使用される。デスクトップ上の様々な場所に配置できる：

- 左上, 中央上, 右上

- 左中央、右中央
- 左下、中央下、右下

`apt-cache 検索 dockapp` というターミナルコマンドを使えば、デフォルトのレポジトリから dockapps を検索できます。レポの中にはうまく動作しないものもあるので注意してください。

3.8 オーバーレイ

Fluxboxでは、オーバーレイファイル `~/fluxbox/overlay` を介して、すべてのスタイルをグローバルにオーバーライドすることができます。オーバーレイファイルは、`Menu > Settings > Configure > Overlay` から編集することができます。MX-25に新しく追加されたMXFBツールバーの設定（セクション4）もここに 있습니다。オーバーレイファイルで定義された要素設定は、Fluxbox セットアップの他の場所で定義された設定より優先されます。

3.9 ウィンドウの設定とコントロール

ウィンドウの移動と調整は、さまざまなキーとマウスの組み合わせでコントロールできます。

- サイズを変更する：Alt+ 変更したいコーナー付近で右クリックし、ドラッグします。
- 移動：Alt+、左クリックしてドラッグします。
- スティック：すべてのデスクトップにウィンドウを表示するには、左上の小さなアイコンを使用します。
- オプション：ウィンドウ上部のツールバーを右クリック。特に、サイズと場所を記憶するように選択できる（`~/fluxbox/apps` に記録）。
- タブ：一つのウィンドウのタイトルバーを Ctrl キーを押しながらクリックし、他のウィンドウにドラッグ&ドロップするだけで、複数のウィンドウを上部にタブがある一つのウィンドウにまとめることができます。この逆の手順で、複数のウィンドウを再び分離することができます。
- ウィンドウをタイトルバーまで縮小する（「シェード」）：タイトルバーをダブルクリックします。

3.10 画面オプション

- 明るさ：メニュー > MX Fluxbox ツール > ツール > 明るさシストレイ
- ブランキング：メニュー > 設定 > ディスプレイ > スクリーンセーバー
- キャプチャ：`mxfb-quickshot`。Print Screen" (別名Print、PrtScなど)ボタンまたはAlt+qキーで起動。Ctrl+Alt+qで8秒遅延、全画面キャプチャのみ。
- タイリング：Alt+<数字1-9>、詳細はキーファイルの下部に記載。
- 解像度：Menu > Settings > Display > Change (arandr)。変更を保存する方法については、"Help" ファイルを必ずお読みください。

4. FAQ-ファインダー

	デスクトップから	アプリから
ルートメニューを開く	デスクトップを右クリック	
プログラムXを開く	ルートメニュー> すべてのアプリ	
	MXロゴ (Appfinder) をクリック	
	Windows/アップルキー(rofi)を押す	
新しいアプリをインストールする	ソフトウェアアイコン	MXパッケージインストーラ
デスクトップのアイコンのオン/オフの切り替え	メニュー> Out of sight > Toggle iDesk	
別のコンキーに変更	コンキーマネージャー	
	メニュー> 外観> Conky	
コンキーのオン／オフを切り替える	メニュー> Out of sight > Toggle Conky	
別のパネルを選択		設定マネージャー> tint2manager
パネルの編集		ティント2設定
ドックのアイテムを編集する	メニュー> 外観 ドックメーカー>	
	ロフィドックの場合> ロフィマネージャー	
ウィンドウのタイトルバーと FB メニューの外観を変更する	メニュー> 外観> スタイル	

ウィンドウの内容、アイコン、 フォントの外観を変更	メニュー> 外観> テーマ	設定マネージャー> ルック & フィールのカスタマイズ
	MX-微調整	
壁紙の変更	メニュー> 外観> 壁紙	窒素
キーショートカットの編集	メニュー> 設定> 設定ファイル> キー	
ルートメニューの編集	メニュー> 設定> 設定ファイル> メニュー	
デスクトップアイテムの削除	メニュー> Out of sight >	
ターミナルを開く	メニュー> ターミナル	Xfce4-terminalまたは他のお好みのターミナル

5. リンク

man ファイル (terminal または <https://linux.die.net/man/>) :

- fluxbox
- fluxbox-keys
- fluxstyle
- fluxbox-remote

<https://wiki.archlinux.org/index.php/Fluxbox> いくつかのコマ

ンドは Arch 固有のものです

http://www.tenr.de/howto/style_fluxbox/style_fluxbox.html Fluxbox のスタイルに関するコアドキュメント

<https://ubuntuforums.org/showthread.php?t=617812>

fluxbox のキーに関する素晴らしいスレッド。

<https://wiki.debian.org/FluxBox> 基本的な機能に関

する良いオリエンテーション

<https://github.com/MX-Linux/mx-fluxbox> MX-Fluxboxの

GitHubレポ

<https://mxlinux.org/wiki/help-files/help-mx-fluxbox/> MX-Fluxbox Wikiエント

リー

<https://mxlinux.org/wiki/mx-fluxbox-traditional-mode/> トラディショナルモー

ドで動作させるためのヒントとコツ

<https://bit.ly/2Sm1PJl> YouTube : MX-

Fluxbox シリーズ